

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	南安タクシー有限公司					
代表者名	氏名	小岩井 清志	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県安曇野市豊科5951番地					
主たる事業の分類	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	43 道路旅客運送業				
主たる事業の概要	バス・タクシーの貸切、乗合、乗用					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	6.56	6.49	6.13		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	12.15	12.02	11.33		
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>					
自動車の台数	台	49		54		
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>					

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

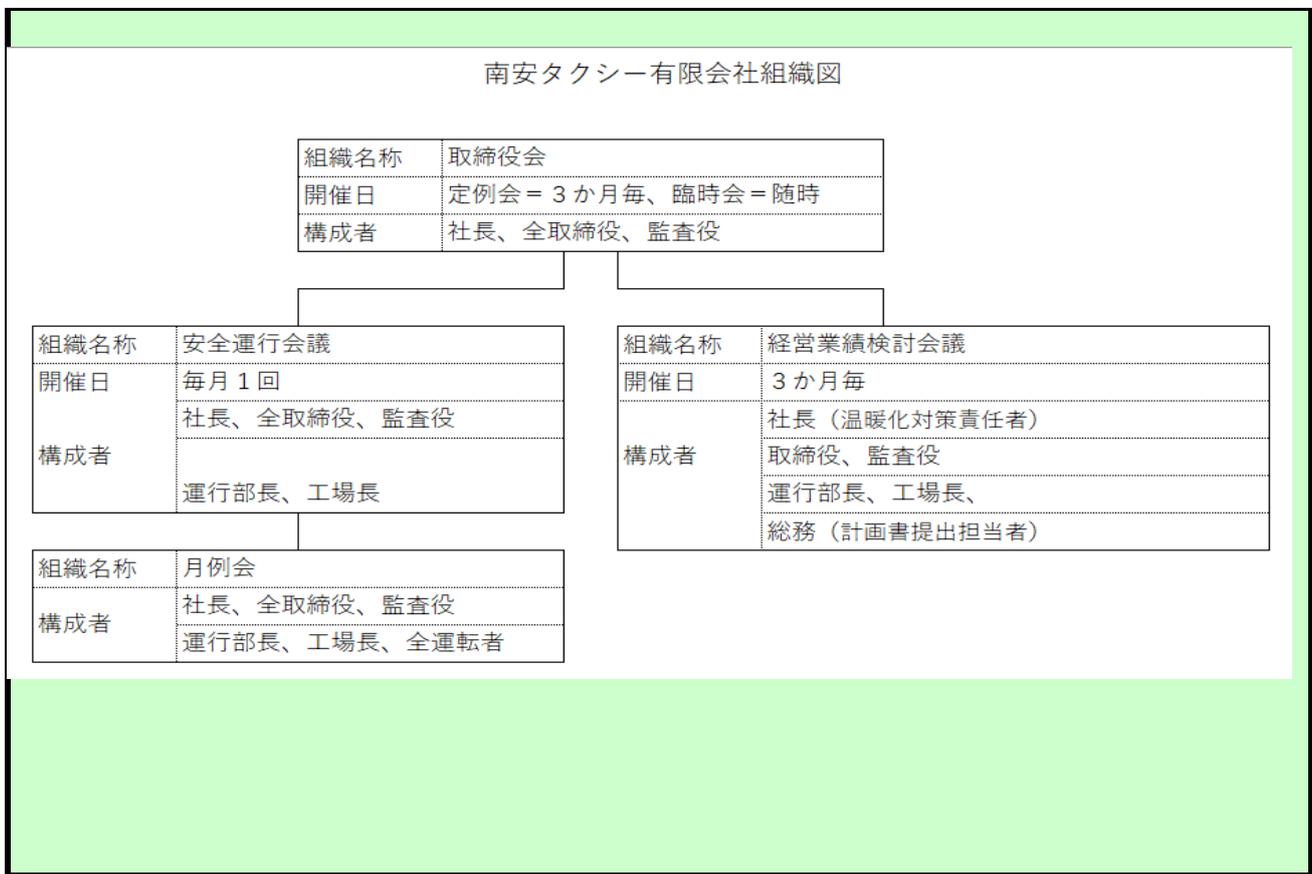
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所：安曇野市豊科5951番地（当社本店事務所）。 閲覧可能時間：祝祭日を除く毎日午前9時から午後5時まで。但し毎週土・日を除く。 担当部署：総務（電話番号0263-72-2858）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

原油由来のエネルギーに依存する当社の事業において、温室効果ガス削減に向けての取り組みは経営上の喫緊の課題であることを改めて認識する。しかし当社の現在の財務力を考慮すると、課題解決に向けて取り組める内容には自ずと限界があるが、「できることから取り組む」という考えを基本に、まず古くなった本社建物内の照明設備・空調設備の更新を図ることで、温室効果ガス削減に向けた取り組みのスタートとする。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

【会社経營業績検討会議】3か月毎に開催されている経營業績検討会議において、温暖化対策担当者から、該当期間に係る使用電力量、電力料金及びガス使用料等について前年実績との比較数値の報告を受け、温室効果ガス排出抑制の取り組み状況を確認するとともに、一層の排出削減に向けた取り組みについて検討する。令和5年1月末、工事が完成引き渡しを受けたので、R5年5月第1回目の検討会議を開催した。

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	12.15	t-CO <sub>2</sub>	本社延べ床面積	3.58	単位	100m <sup>2</sup>
2021年度	調整後排出量	12.15	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	3.39	t-CO <sub>2</sub> /	100m <sup>2</sup>
目標年度	目標排出量	12.02	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	3.35	t-CO <sub>2</sub> /	100m <sup>2</sup>
2022年度	目標削減率	1.06	%	目標削減率	1.06	%	
目標設定に関する説明	2022年度は年度途中で設備更新であるため、確実に達成可能と思われる約1%の節減を目標として設定した。						
第一年度	排出量	11.33	t-CO <sub>2</sub>	本社延べ床面積	3.58	単位	100m <sup>2</sup>
	削減率	6.74	%	原単位	3.16	t-CO <sub>2</sub> /	100m <sup>2</sup>
2022年度	調整後排出量	11.33	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	6.78	%	
	削減率	6.74	%				
排出量等の増減理由	目標を超えて削減することができた。今回の申請を機に、とりわけ会社の電力消費量について請求書によりその消費量と料金の前年対比一覧表を作成し、経営会議に提出することにした。こうした取り組みが若干ではあるが削減効果を生んでいるのではないかと考えています。室温の設定温度の適正化、無駄な照明をなくす取り組みなど、削減に向けた取り組みはこれから本番と考えているので、より一層の削減が可能ではないかと期待したいです。						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	本社延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	本社延べ床面積		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
—年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	110304	各種データ管理（月報の作成）	2022		2022	
2	エネ起	130101	設定温度、湿度の適正化	2022		2022	
3	エネ起	150201	照明器具及びランプの適正な選択	2022		2022	
4	エネ起	150204	適正照度の管理	2022		2022	
5	エネ起	150303	電力削減（不要時電源OFF）	2022		2022	
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

1 0 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	12.15	1	11.33				
合計	1	12.15	1	11.33				

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

1 2 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	49	54		
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

主として温室効果ガス削減に向けた取り組みを目標を持って一層進めるため、指導機関の指導を受けながら、SDGsへの登録を早急に進める。